

秋田工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	建築デザイン演習 V	
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	創造システム工学科 (土木・建築系)		対象学年	3		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	教科書: 「コンパクト設計資料集成」日本建築学会編 丸善, 「初めて学ぶ建築製図」建築のテキスト編集委員会 学芸出版社, その他: 必要資料を適宜配布する。					
担当教員	井上 誠					
到達目標						
1. 計画敷地の特性を読み取ることが出来る。 2. 計画的な面を考慮し、図面を過不足なく描ける。 3. 空間的な面を考慮し、空間を提案できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	計画敷地の特性をサーベイを通して周辺を含め読み取ることが出来る。		計画敷地の特性を読み取ることが出来る。		計画敷地の特性を読み取ることが出来ない。	
評価項目2	計画的な面を考慮し、図面を過不足なく描け、美しいレイアウトが作成できる。		計画的な面を考慮し、図面を過不足なく描ける。		計画的な面を考慮し、図面を過不足なく描けない。	
評価項目3	空間的な面を考慮し、ヒューマンな視点から空間を提案できる。		空間的な面を考慮し、空間を提案できる。		空間的な面を考慮し、空間を提案できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	建築設計で用いる基本的な製図方法と図面のきまり、表現方法を整理し、分かりやすい建築図面の作成を修得する。建築設計を遂行する上で必要な諸機能の整理、面積の調整など、企画からプレゼンテーションまでの、一連の作業を修得する。 敷地条件から使用者、社会、気候風土との関係を読み取り、公共性の高い空間の設計を修得する。					
授業の進め方・方法	各課題のはじめに講義を行ない、その後、演習形式を中心に行なう。 必要に応じて、エスキースの提出など、進行状況が把握できるものの提出を求める。 最終的な図面が合格基準に達しない場合、再提出を課すことがある。					
注意点	合格点は50点である。 総合評価は、各課題の評価を全体の90% (最終提出60%、中間提出20%、レポート10%) とし、態度を10%として評価する。特に、レポートや課題の未提出者は単位取得が困難となるので注意すること。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・公共広場の設計1: 課題説明	公共広場の課題が理解できる。		
		2週	公共広場の設計2: レポートチェック 提出	公共広場のレポートが提出できる。		
		3週	公共広場の設計3: エスキース	公共広場の計画ができる。		
		4週	公共広場の設計4: 中間チェック1 提出	公共広場の計画が提出できる。		
		5週	公共広場の設計5: 第一課題最終提出	公共広場の設計が提出できる。		
		6週	小学校の設計1: 公共広場の設計講評会・課題説明および計画上の概要	小学校の課題および計画上の概要が理解できる。		
		7週	小学校の設計2: レポートチェック 提出	小学校に関するレポートが提出できる。		
		8週	小学校の設計3: エスキース	小学校の計画ができる。		
	4thQ	9週	小学校の設計4: 中間チェック2 提出	小学校の計画が提出及び説明ができる。		
		10週	小学校の設計5: 中間チェック2	小学校の計画が説明ができる。設計ができる。		
		11週	小学校の設計6: エスキース	小学校の設計及びプレゼンテーションボードの作成ができる。		
		12週	小学校の設計7: エスキース	小学校の設計及びプレゼンテーションボードの作成ができる。		
		13週	小学校の設計8: 第二課題最終提出	小学校の設計及びプレゼンテーションボードの作成ができる。		
		14週	小学校の設計9: プレゼンテーション1	自分の設計のプレゼンテーションができ、他者の説明が理解できる。		
		15週	小学校の設計10: プレゼンテーション2	自分の設計のプレゼンテーションができ、他者の説明が理解できる。		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建設系分野	製図	線と文字の種類を説明できる。	3	
				平面図形と投影図の描き方について、説明できる。	3	
				CADソフトウェアの機能を説明できる。	3	
				図形要素の作成と修正について、説明できる。	3	
				画層の管理を説明できる。	3	

				図の配置、尺度、表題欄、寸法と寸法線の規約について、説明できる。	3			
				与えられた条件を基に設計計算ができる。	3			
				設計した物をCADソフトで描くことができる。	3			
		建築系分野	設計・製図			製図用具の特性を理解し、使用できる。	3	
						線の描き分け(3種類程度)ができる。	3	
						文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	3	
						建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	3	
						図面の種類別の各種図の配置を理解している。	3	
						図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	3	
						立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	3	
						ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	3	
						各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	3	
						与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	3	
						与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキスができる。	3	
						与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などがかける。	3	
設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。	3							
講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。	3							

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	10	0	80	10	100
基礎的能力	0	0	0	10	0	30	10	50
専門的能力	0	0	0	0	0	30	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	20	0	20